

# やまがた 議会だより

平成30年1月

No.123

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



## 平成30年1月8日 出初め式 ラッパ隊 行進

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| ■第4回議会定例会／主な議案……………2 | ■一般質問……………4～7           |
| ■山形村3団体懇談会……………2     | ■議会日誌……………7             |
| ■青年海外協力隊報告会……………3    | ■傍聴席からワンポイントメッセージ……………8 |

山形村ホームページ <http://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

# 平成29年度 第4回議会定例会

平成29年度山形村議会第4回定例会が12月7日開会し15日まで9日間開催された。

平成29年度一般会計補正予算など全10件（承認1件、議案8件、発議1件）を原案通り可決した。承認は衆議院議員選挙に伴う補正予算の専決処分1件、議案では条例改正が、人事院勧告に基づく一般職、特別職などの給与に関する条例を改正する条例3件、及び平成29年度一般会計補正予算など5件を全会一致で可決した。継続審査中の陳情について、議員発議による意見書1件を採択し国会、内閣等へ提出することとした。

一般質問は10日の日曜日に休日議会として行ない、11人が登壇し、多くの傍聴者の注視の中、村政の課題を質問した。  
(増澤 武志)

## 承認

○平成29年度一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告について  
歳入歳出総額に4百14万9千円を追加し総額を34億7千7百62万5千円とするもの。

・選挙に係る経費として4百14万9千円

## 衆議院議員選挙費

## 条例改正

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○特別職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

## 補正予算

○平成29年度一般会計補

## 障害者自立支援事業

・対象者の増加等に伴い自立支援事業扶助費に千百60万円

## いちいの里風呂ボイラー修繕

・いちいの里風呂ボイラー更新、ろ過機取替修繕等の追加工事費に3百70万5千円

## 私立保育所給付費

・認可私立保育所に対する子どものための教育・保育給付費に千2百11万3千円

○平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
歳入歳出総額に千4百88万千円を追加し総額を12億2千9百81万8千円とするもの。

○平成29年度介護保険特別会計補正予算（第3号）  
歳入歳出総額に千8百49万2千円を追加し総額を7億8千9百65万3千円とするもの。

○平成29年度清水高原簡易水道特別会計補正予

算（第3号）

歳入歳出総額に3百40万円を追加し総額を5千3百67万5千円とするもの。

○平成29年度水道事業会計補正予算（第3号）  
収益的支出の予定額に18万3千円追加し総額を1億9千2百99万千円とするもの。

## 議員発議

○全国森林環境税の創設に関する意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣に提出するものとする。  
(賛成多数で採択)  
賛成：大池、上條、新居、小林、籠田、増澤、竹野入、赤羽  
反対：大月、三澤

## 平成29年度

## 山形村3団体懇談会開催

## 黒川堰開設の偉業を再認識

12月1日(金)、山形村3団体（農業委員会・JA松本ハイランド・村議会）懇談会が、来賓の村長、JA松本ハイランド専務・常務を含め50人ほどが参加して、トレーニングセンターで開催された。主な内容は、JA農産物生産販売の現状説明と、20年間にわたり黒川堰土地改良区の理事長を務めた古川敏夫さんの「郷土が誇る大事業」と題して黒川堰に纏わる講義をいただいた。また、民話クラブ灯火の「与市と米のまんま」の紙芝居も上演された。

中信平農業用水の恩恵に甘んじている現在、水の大切さを再認識する研修だった。

(小林 武司)

# 「YOUは何しにアフリカ・ガボンへ？」

## 青年海外協力隊



独立行政法人 国際協力機構

## 小野百恵さんの報告会

青年海外協力隊の小野百恵さん（上竹田）が、2年間にわたる活動を終了し、このほど帰国した。派遣先となったアフリカの「ガボン共和国」で彼女が経験したことは？「YOUは何しにアフリカ・ガボンへ？」と題された帰国報告会が11月24日開催された。



に、カナダからのお客さんと接してからのこと。  
JICA（国際協力機構）を知り、駒ヶ根訓練所での研修を経て、国から指定された派遣先はアフリカ大陸の西海岸「ガボン共和国」。野菜栽培の指導を行なうとともに、商品価値をどう高めるかといったマーケティングの指導まで、現地の人々の暮らしの向上に寄与する活動をしてきた。  
アトラクションはアフリカとのIT電話で生中継で歌の交換、ガボン共和国のおやつ「ふわもちドーナツ」の試食等もあり、目、耳と舌でアフリカを堪能した。

（増澤 武志）

会場には、ガボン共和国の衣装や民芸品が展示され、百恵さんも現地衣装に身を包み、いかにもアフリカ風情とあったところ。  
百恵さんが海外との交流に興味を持ったのが、旅館の仲居さんとして働いていた時に、カナダからのお客さんと接してからのこと。

## 議会議員・区三役研修会

## 防災マップの知識を高める

本年度の区三役と議員の合同研修会は、「区長の会」が主催で先般開催された。第一部では、松本建設事務所の鈴木祥一氏から「土砂災害に対する備え」に関する研修を受け、第二部では、長野県危機管理防災課の田村浩二氏より「地域の防災力アップ」の研修を受けた。  
地域内で災害時に役立つものや、危険なもの等を地図上に書き込む「防災マップ」は、自主防災活動を進めるうえで、災害が発生した時に慌てず冷静に素早く適切な対応が出来るようにするためにも重要な道具となり得る説明を受けた。  
早速、会場では山形スタイルの「防災マップ」創設構想の議論が交わされる意義深い研修会となった。

（大月 民夫）

本年度の区三役と議員の合同研修会は、「区長の会」が主催で先般開催された。第一部では、松本建設事務所の鈴木祥一氏から「土砂災害に対する備え」に関する研修を受け、第二部では、長野県危機管理防災課の田村浩二氏より「地域の防災力アップ」の研修を受けた。  
地域内で災害時に役立つものや、危険なもの等を地図上に書き込む「防災マップ」は、自主防災活動を進めるうえで、災害が発生した時に慌てず冷静に素早く適切な対応が出来るようにするためにも重要な道具となり得る説明を受けた。  
早速、会場では山形スタイルの「防災マップ」創設構想の議論が交わされる意義深い研修会となった。

## 旬の味

光陰矢の如し、議員任期の最終着地点が見えてきた。

平成29年3月17日に本庄村長が初登庁され「本庄丸」が大きな希望と目標を持つてスタートした。全国各地で甚大な自然災害が発生した。時事問題では森友、加計学園問題の不透明さや経済産業界では日本を代表する企業がデータターの改ざんや不祥事の連発であり日本の安全、安心神話が歪んでしまった。スポーツ界では日本公益財団法人相撲協会に於いて「貴ノ岩」に端を発した組織内暴力問題が発生し未だに解決の糸口さえ見えない。

平成29年の世相漢字が「北」になったと日本漢字能力検定協会が発表した。北の字は二人が背を向けている字である。

地元を根を下ろして活躍すべき市町村長、議員までが不祥事件が多数あった。山形村議会は年4回の定例会を中心に幾多の会議、講演会等を開催して視野を広めて、開かれた議会を目指して理事者、職員、議会が一体になり村民の「幸せ」を願って頑張っている。

平成29年は「農業生産」「商工業界」「観光事業」明るい情報が見えてきた。地域おこし協力隊員の採用による活躍が始まった。

本年は村議の改選の年である。村発展のため大勢の人が議員に立候補して活発に質疑、討論し山形村発展に尽力することを期待する。

平沢 恒雄

そこが聞きたい

# 一般質問

12月議会一般質問は10日(日)に行なわれ、村政全般に亘って11人が質問した。

## スカイランドきよみずと清水寺の今後は

長 早めの指定管理の検討、村の重要な観光資源と考えている



籠田利男 議員

毎年「スカイランドきよみず」に対し指定管理料、優待券補助、設備関係保守費、建物修繕費等年間数千円の村費が投入されている。

Q 支配人時代に考えた客寄せの方法は。 村長 都会のお客様が多いので、自生する山野草や村の魅力を宣伝し、お客様のリピート率の向上に繋がりたいと考えた。

Q 指定管理制度をこのまま続け村費を投入していくのか。

## 「有線告知放送」による周知度の現況と展望は

村長 山形村防災メール登録の普及に努める



大月民夫 議員

緊急告知放送は、屋外拡声スピーカーで、屋外に居る住民には周知度は高まったが、近年の住宅

構造からして、告知受信機不所持の屋内住民への周知には課題が残る。

Q 有線告知放送受信機の設置世帯数の比率は？

A 村長 現状の加入率は68%と推計される。

## インフルエンザ予防接種の子どもに補助を

村長 子育て支援に繋がるので補助を検討する



竹野入恒夫 議員

Q インフルエンザの予防接種を家族であれば、村内のある医院では1回1人3千8百円、4人家族で1万5千2百

円もかかる。子供は2回の接種が必要のため、この家族は合計2万1千2百円の出費だ。子供に対して少しでも補助金が出ないものか。

A 村長 予防接種は肺炎や脳症等の重症を予防する効果は認められている。接種した人は発

Q 設置普及案内の呼びかけは？

A 村長 テレビ松本に移行した年度以降は、告知放送システムの詳細説明はしていない。

Q 山形村防災メールの登録手続きを済ませた住民数は？

A 村長 現在5百76人だ。

Q 「防災メール」の登録普及に全力を尽くしてもらいたい。転入世帯への詳細説明と資料配布、生活ガイドブック

へ登録手法の掲載、防災訓練時には全村民に毎年再周知する、などが必要。 村長 普及に努める。

Q 今後の広報のあり方は？

A 村長 防災無線・有線放送・防災メールなど、それぞれの役割や情報伝達の将来を見越した研究を行ない早期に指針を示したい。 その他に、地域支えあい交付金に関する質問をした。

病率の減少に一定の効果のあることも認められている。子供への補助は、子育て支援に繋がるので、来年度の予算に反映させるように検討する。

Q 松本市の菅谷市長は10月20日に、胃がんになるリスクを高めるとされる「ピロリ菌」の検査を、私立を含む全中学の2年生の希望者を対象に来年度から始める方針を示した。鉢盛中学校の山形村の2年生に対する検査は、村ではどのよ

うにするのか。 村長 管理市の松本市の例により、鉢盛中学校2年生のピロリ菌検査について実施するための予算を現在検討している。

その他に、地域防災と消防、松本山雅について質問した。

## 副村長の選任は

副村長 年度途中であり、もう少し検討したい



大池 俊子 議員

**Q** 本庄村政がスタートして9ヶ月が過ぎようとしているが、4月以降副村長が空席となっているがなぜか。

**A** 村長 地方自治法百61条では、市町村に副市町村長を置く。ただし置かないことができ

る。原則置くこととして

いる。現状では、職員や関係団体に負担がかかることもある。

**Q** 危機管理体制における副村長の役割は。

**A** 村長 山形村災害対策本部条例により副本部長は副村長と教育長となっているので、教育長が指揮監督を執る。

**Q** 副村長は職員の相談役であり、人事評価では課長評価は副村長

評価では課長評価は副村長

## 災害時、聴覚障害者への情報伝達は

副村長 携帯メールなどで検討



新居 禎三 議員

**Q** 聴覚障害者は防災無線・告知放送は聞こえないが、どのように情報伝達を行なうか。

**A** 村長 今はほとんどの方が携帯電話を

お持ちであり、振動や光などで情報提供できるシステムの構築を考えている。現在は、登録いただいた方に、携帯メールでの防災メールを実施している。障害者の方で携帯電話をお持ちにならない方については補助する制度も考えている。

**Q** 防災無線の個別受信機には、字幕表示

がすることとなっているがどうか。

**A** 村長 自治法百52条の規定で事務処理の場合、副村長がその職務代理となるが、空席のため、総務課長が職務代理すると規定されている。

**Q** 今後、副村長の選任計画はあるか。

**A** 村長 年度の途中でもあり、もう少し検討したい。

その他に、子育て支援体制の見直しと児童館について質問した。

などでお知らせできる機器もあるが検討できないか。

**A** 総務課長 いろいろなか機器があるのは承知しているが、携帯電話による方法が、比較的有効に簡易にできると考えている。他の有効な方法も併せて研究していきたい。

その他に、公共料金支払の利便性向上について質問した。

## 環境美化条例の制定は

副村長 村民の盛り上がり期待する



西牧 一敏 議員

**Q** 西山山麓の荒廃農地の現状は。

**A** 村長 荒廃農地は概ね3万8千5百㎡ある。里山に隣接している

るので、獣やカラス等の被害があり、耕作には難

しい現状もある。

**Q** 官民一体の村造りに「環境美化条例」を。

**A** 村長 条例の目的が重要であると思う。具体的には、たばこの吸い殻や空き缶のポイ捨てや不法投棄等の対策のために制定に至ったケース等がある。村民のニーズの把握に努め、盛り上げを期待しつつ考えてい

る。

## 災害に対する防災・減災対策は

副村長 地域防災計画を基にマニュアルを作成している



三澤 一男 議員

**Q** 災害対応体制の整備と、発災時の対応は。

**A** 村長 マニュアルは、大地震が発生した場合及び風水害に備え、職員各自が危機管理意識を持つとともに、初動体

**Q** 防災情報システムの整備と発災時の情報収集分析はどうなっているのか。

**A** 村長 本年度整備した緊急地震速報、気象庁の全国瞬時警報システム（Jアラート）により村の防災行政無線が

きたい。

**Q** 山形村の歴史や文化、自然情報の展示や観光案内などができるビジターセンターのようなものは考えていないのか。

**A** 村長 今すぐにビジターセンター的な施設は考えていない。今後、時間をかけた慎重な検討が必要だと考える。

その他に、中部縦貫道の進捗状況と村の対応について質問した。

自動的に起動し、サイレンが吹鳴し音声放送が行なわれる。

また、発災時の情報収集分析については、防災計画に基づき行なわれる。その他に、防災・減災対策について質問した。



東日本大震災で倒れた信号機、電柱の状態

## 負担増す民生委員に 助っ人制度導入を

長 環境を整備し、  
村 協力員制度は研究する



上条 浩堂 議員

**Q** 負担増す民生委員に助っ人制度導入を  
してはどうか。

**A** 村長 民生児童委員協議会は民生児童委員17名と主任児童委員2名で、地域の福祉に関し村民の相談相手として、また地域の見守りや行政とのつなぎ役として、高齢者や障害者など支援が

必要な方々に対して様々な活動を日々担っていただいている、その献身的な活動に感謝している。

村では昨年度より生活支援コーディネーターを設置し、地域全体で要支援者を支えるシステムづくりについて研究している。

見守りや相談活動、行事、会議、ボランティア活動への参加など日々忙しく活動していただいているが、敬老会の取りまと

め方法の見直しや介護サービスをうけている方への見守り方法の見直しを行なっている。今後もご意見を伺いながら、無理なく活動しやすい環境整備に向けて取り組むとともに、協力員制度を含め研究をしていく。

## 空席になっている副村長について

村長 新年度に向けて検討



赤羽 千秋 議員

**Q** 行政運営に問題はないのか。

**A** 村長 役場の事務処理上の規定は、副村長が在籍していることを前提に事務処理の流れを定めているので、職員

には副村長空席によりある程度の負担があると思う。

行政運営にあたり状況に合わせ、臨機応変に対応すること、事務の効率化や、行政課題に対し迅速に対応することも必要だと考えている。

**Q** 今後、副村長を考

**A** 村長 副村長を置かないこともできる。村長の仕事量も確認しながら検討していく。

**Q** 平成29年行政懇談会の意見対策について。

**A** 村長 総参加人数百90人だった。出席者については若い人たちの参加が少ないように感じた。生活に密着した身近な意見が多く、対策は直ぐにできるものは早々に対応し、費用がかかる要望などは各区の地域づくりや実施計画に載せて

実施したい。

**Q** 外灯及び施設のLED化について。

**A** 村長 村内の外灯数は、概ね9百50個。今回民間資金を活用、補正をお願いしているところ。外灯やその他の公共施設は、平成30年度以後順次交換を計画していく。

## 農地の権利取得の最低経営 面積制度の見直しは

村長 農業委員会で慎重な協議を願う



小林 武司 議員

**Q** 農地法第3条で、都府県は最低経営面積が50アール以上と規定されていたが、平成21年の改正により地域の実情に応じて、各農業委員会で変更設定が可能となった。

村農業委員会で、下限面積の緩和策などの検討はあったか。

**A** 村長 農業委員会の定例総会の中で、近年この議題が上ったことは無いようだ。農業環境などを考慮すると下限面積の見直しはこれから必要になるものと考えている。細部については農業委員会で慎重な協議をお願いしたいと考えている。

**Q** 下限面積の引き下げを実施した場合、遊休荒廃農地の解消や新規就農者、移住者確保などに、どの位の効果を期待できそうか。

**A** 村長 農業委員会の窓口にも「農業を始めたが農地が無い。」といった相談が、年に数件程度ある。見直しされると新規に農業を始める方への環境づくりのひとなるものと考えている。さらに、今後空き家に隣接する農地についても「空き家と併せて購入したい。」といった需要もあることも考えられる。以上のようなことを考えると、遊休荒廃農地の解消、新規就農者および移住者確保などに繋がるものと期待する。

# 霊園に「合葬墓、樹木墓地」

## が必要ではないか

村長 ニーズを見極め十分な検討が必要



増澤武志 議員

なろう原霊園は平成19年の供用開始以来、整備済聖地は5百7区画、28年度までの使用数は百60区画、使用率は31・6%である。

**Q** 当初の使用見込みの根拠、今後の見通しは。

**A** 村長 建設当初の人口から推計した平成30年度人口は1万7百56人となり、現実は大きく下回った。アンケート調査は計4回行ない平成15年の結果で墓地を持たない世帯3百20世帯中、使用希望2百76世帯分として3百区画、更に人口増による需要を2百区画と見込んだものである。今後5年間5から10区画の申請が続くと見込む。

**Q** 造成費を1区画当たり使用料相当とみて5百区画で2億5千万円、未使用分3百40区画分で1億7千万円が資金未回収。毎年の管理料収入が48万円に対し、管理費用が約85万円、不足分は村会計で補填している。特定の方のための事業は、本来、特別会計で管理すべきものと考えているかどうか。

**A** 村長 平成15年度から19年度まで特別会計であった。廃止にあたり議論があったと聞くが、あるべき姿として、その考え方は理解できる。樹木葬墓地の設置を含め、合葬墓について村としての考えは。

**A** 村長 ニーズの変化は予想されるため、多様な埋蔵方式の研究、他市村の動向を注視しながら十分な検討が必要と考える。

# 議会日誌

日	内容
△10月V	2日 長いも料理研修会 議長
4日 山形保育園運動会 議長・福祉文教委員	
5日 じゃんずら祭り実行委員会	
6日 松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市） 議長	
7日 信州松本そば祭り 議会広報編集特別委員会	
8日 村民運動会	
11日 青年海外協力隊帰国報告 議長	
14日 やまの子保育園運動会 ナイターソフトボール連盟閉会式 議長	
17日 波田下原地区県営畑総事業竣工式（松本市波田） 議長	
20日 総務産業常任委員会 議会人権研修会 定例全員協議会	
21日 議会広報編集特別委員会 議会防災研修会	
23日 福祉バス出発式 議長	
25日 県町村議定会定期総会（長野市） 議長	
26日 福祉文教常任委員会 道祖神と新そば祭り実行委員会	
27日 松塩地区広域施設組合議会 10	
△11月V	6日 東筑摩郡議定会県知事・県議会議長要請（長野市） 議長
7日 松塩筑木曾老人施設組合定例会（松本市） 議長	
8日 区三役・議会議員研修会	
9日 県地方自治政策課題研修会（長野市）	
9・10日 松塩地区広域施設組合環境保全視察（富士市・調布市） 福祉文教委員長	
10日 総務産業常任委員会 道祖神と新そば祭り	
12日 福祉文教常任委員会 定例全員協議会	
14日 花いっぱい運動花壇片付け	
15日 信州松本そば祭り反省会	
16日 松本広域連合議会定例会（松本市） 議長	
20日 鉢盛中学校議会11月定例会 議長・福祉文教委員	
21日 全国町村議定会全国大会（東京都）	
22・23日 青年海外協力隊報告会 議長	
24日 首都圏村人会（東京都）	
25日	
△12月V	1日 議会・農業委員会・JA三団体懇談会 議会運営委員会
4日 道祖神と新そば祭り反省会 第4回議会定例会開会 一般質問	
7日 総務産業常任委員会 福祉文教常任委員会 定例会閉会	
10日 議会運営委員会	
12日 議会広報編集特別委員会	
13日	
15日	
25日	
△1月V	4日 松本ハイランド農協支所新年会
5日 役員新年会	
8日 消防団出初式	
12日 東筑摩郡村長会・議長会新年会	
17日 総務産業常任委員会 定例全員協議会	
18日 議会基本条例研修会	
19日 福祉文教常任委員会	
22・23日 松本広域連合議会視察研修（東京臨海広域防災公園） 議長	
24日 明るい選挙推進大会 全員協議会	
31日（予定） 正副議長・正副常任委員長研修会（安曇野市） 正副議長・正副委員長	
28日 観光協会正副会長会 議長	

### 休日議会を傍聴して

上竹田 男性 67歳  
議会傍聴は、今回で三回目です。議員さんは質問内容を良く調べている。私はメモを取りながら傍聴しました。YCSで見るのと違い真剣さが伝わり記憶に残ります。  
知りたい事が議員の質問予定項目にあったら、傍聴しに行ったらどうですか。

### 村の発展を祈る

小坂 女性 60代  
村民の一人として、なかなか議会を傍聴する機会が少ない中、休日議会が行なわれる事を知り初めて議場へ足を踏み入り傍聴致しました。議員の方々は村民から選ばれ村を良くする為の活動をしている事がよく分かります。新村長の基、村が増々発展する事を心から祈ります。

### 傍聴して感じた事

中大池 堤 恵子  
初めて傍聴した。身近な内容だった。防災メールは時世に合い登録は必須だが高令者や聴覚視覚に支障がある人には課題が残る。副村長就任や防災に関する継続審議中の議案は双方で議論を深め早期の解決を望む。村政を知る上で良い機会だった。関係者に感謝する。

### 住民が主役

下竹田 男性 70歳  
前回村議選は無投票、平日議会の傍聴人は十名位と共通項は村政への関心の低さ。その様な事態に変化を与えたものが休日議会、今回は前回より三割増の傍聴人。議運委並びに関係者の努力の賜物かと感じた。早春の村議選には選挙カーが頻繁に走り廻る事を期待する。

### より深みのある議論を

上竹田 降篠典明  
ここ数回議会を傍聴しました。取り上げられたテーマは多岐にわたって結構ですが、一つのテーマをしつこく追いかける姿勢が希薄かと。また、いまひとつ議論に深みを感じられません。議員による村民の中からの多様な意見の吸い上げと、議論への反映を期待します。

### 初傍聴

下竹田 土田淳一  
山形村に住んで約18年、今回地元議員さんから誘いを頂き、初めて休日議会を傍聴しました。予想以上の傍聴者に驚きつつ、興味深く見ておりました。今回は自分の関心あるテーマは少なかったですが、次回も都合がつけば傍聴に行きたいと思っています。

### スムーズな村政運営を

中大池 平沢朋之  
副村長はおいたほうがいいと思いました。正直村長だけでは不在のときの対応ができていないと感じています。あの場で言葉を濁したのもよくわかりません。もう少しスムーズな村運営を心がけていただきたいと私は思います。

## 特集 傍聴席から ワンポイント メッセージ

休日議会を傍聴戴きました皆様方から、数多くのメッセージを頂戴しました。村民に開かれた議会を目指し、今後も風営に努めてまいります。

### 身近な問題を深く

下竹田 百瀬健一  
一期16回の議会質問は大変な労力と問題意識が無いと机上の空論に終ります。「他の自治体がやっているの如山形村もやれ」と言う様な提案が多く見えますが、もっと、住民の「声」を聞き、山形村が必要とする芯の通った議論、施策の提案をお願いします。

### 議会に関心を

上大池 春日 仁  
昨年に引き続き傍聴させていただきました。昨年より傍聴人も多かったです。若い人が少なかったのは残念です。それぞれの年代が関心を持つ質問があればと思います。それと、議場の入口に、議会の流れ等を記したパンフレットなどがあれば良いかなと思います。

### 災害発生時の 連絡方法

上大池 上脇健史  
議会の傍聴が出来て有難うございます。昨日のニュースでありましたが、佐久市議会では、12月議会で、手話の理解と普及を進め共に支え合う街づくりを目指す「手話言語条例」が可決しました。山形村でも、災害などの緊急時に迅速に情報を得られる環境を整えて欲しい。

### 編集後記

昨年引き続き平成29年12月議会一般質問は10日(日)に行なわれた。11名の一般質問を行なうには12時間を要するため、議会運営委員会で議論を重ね1人の議員持ち時間は40分となった。委員会では1人でも多くの村民の皆さんに議会を知ってもらうため、昨年度に続き2度目の日曜議会を行なうこととした。

村長を始め庁内の役職員の協力の中、また傍聴される村民の方々が、どの議員の質問内容をお聞きされたのか考え、前もってチラシを全村配布した。おおよその時間も分かるようにした。そんな中39名の村民の方々が傍聴に見えていただいた。議員も今まで1時間の持ち時間を40分に質問内容を短縮させ、長い間傍聴されている村民の皆さんの負担軽減にと、それぞれの議員が努力をした。

これからも、村民の皆さんからいただいたご意見を謙虚に受け止め、村民のための議会、開かれた議会を目指しますので宜しく願います。

### 議会広報編集特別委員会

籠田 利男

### 重複質問は事前工夫を

小坂 男性 60代  
休日議会の実施は良いと思います。同様の質問が有る場合は、事前に議員間で調整したら良いと思う。より良い村作り議会運営に期待します。